

コンピュータ概論B - ソフトウェアを中心に -

#1 歴史・ハードウェアの発達

Yutaka Yasuda

コンピュータの発達

- コンピュータの誕生と進歩

機械式（歯車、カード）、電気式（リレー）、真空管、
電子式（半導体）へ

- 素子技術発達史として語られる

素子＝データを保持、処理する最小装置単位

- 小型化、高速化の歴史でもある

小さく、速く

- コンピュータ = 計算機能 + 自動処理

単純計算を自動的に大量処理する応用で発達

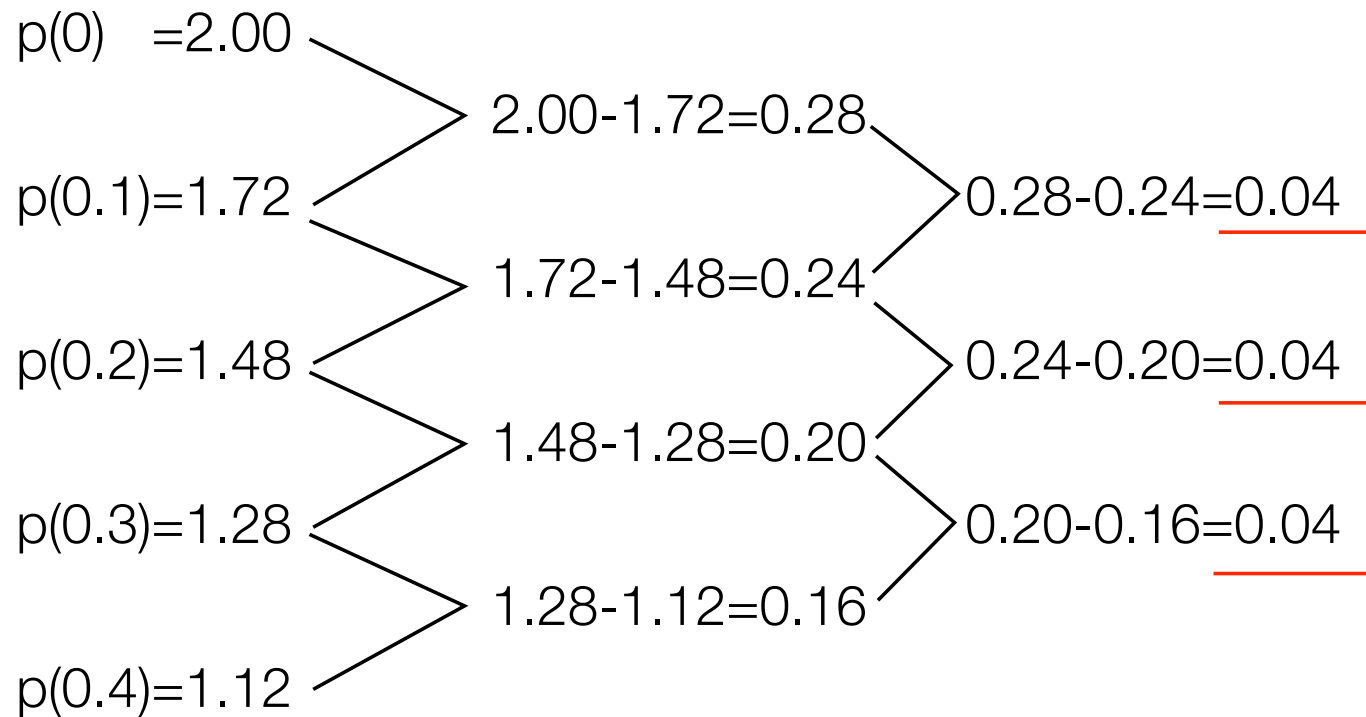
- 大量・高速処理のためには

大量素子を一カ所に集める → 小型化

- 高級な処理 → 複雑な動作 → 単純動作の組み合わせ → 短時間処理
- これらはすべてハードウェアの発達史である

多項式を数表化する

$$p(x) = 2x^2 - 3x + 2$$



ref. wikipedia